

① 物資配給
その1

② 備蓄品
の確認

③ 公衆電話
の設置

④ トイレ
の設置

⑤ 物資配給
その2

⑥ 受付時
の配布

物資配給
その3

避難所開設の手順書

物資班長用

まずは箱の中に入っている物資班用のベストを着ましょう。

次に、チェックボックスの上から順に実行しましょう。

全てにチェック ☒ が入ったら  マークがあるところを
声に出して 読みましょう。

災害で混乱している中での開設となるので、マークがないところも
なるべく声に出しながら読んでください。

POINT!

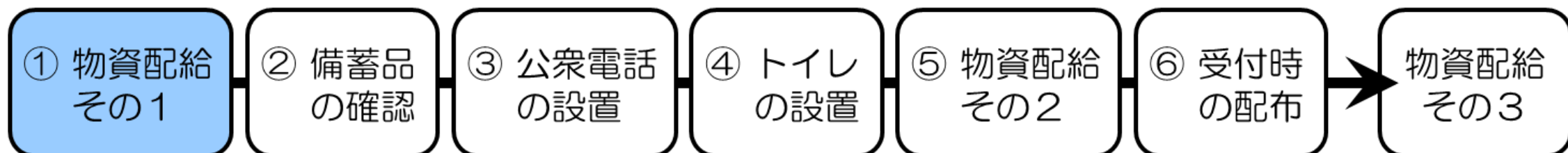
これから行うことを
班員にも分かるように

ゆっくりと

声に出して

読み上げましょう!!





CHECK!



物資班は、各班に備蓄品を配給したり、公衆電話やトイレを設置したあと、避難者が体育館に入るとき毛布を配布することが役割です。

各班の行動は、状況によって要する時間が変わることから、上の順番のとおり進むとは限りません。

各班から調整があった場合は、番号のページを確認して対応します。



まずは、備蓄倉庫の鍵を開け、各班が行動できるように物資を配ります。



物資班に
指示！

避難者は体育館に入る前に受付を行うこととなっていて、今から2時間くらいから始まる予定です。

我々は、それまでのあいだに、各班が必要な物資を配給し、電話やトイレを設置します。また、受付では、毛布を配布します。

これから、備蓄倉庫の中をチェックします。



扉の裏に貼ってある備蓄品一覧を確認し、配給する物品がどこにあるかを探します。

最初に配る物資は、救急箱です。

今が夜で暗い場合は、懐中電灯を配り、投光器を設置します。



声に出す！

扉の裏に貼ってある備蓄品一覧を確認してください。

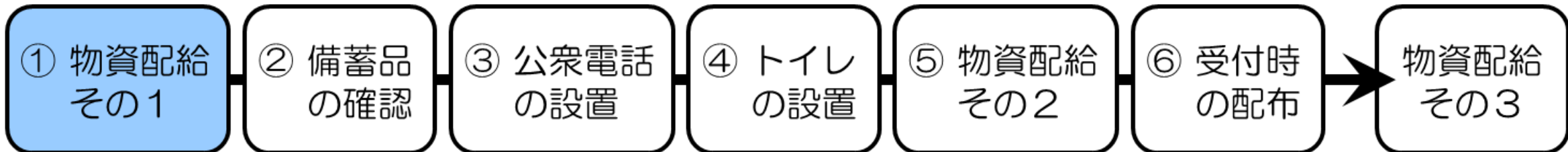
まずは救急箱を取り出します。

1 3番の救急箱の位置欄に書いてあるアルファベットを確認してください。

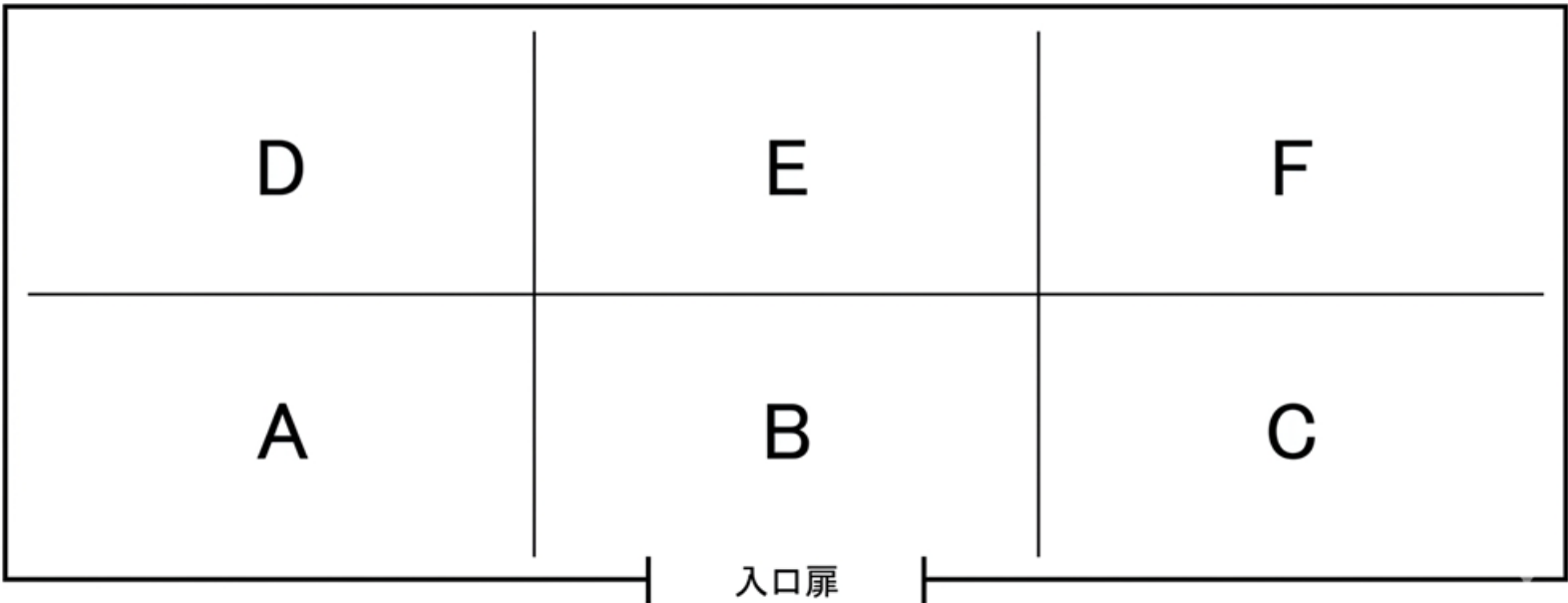
※ 夜なので、懐中電灯と投光器も確認してください。

(懐中電灯) 1 2番 ハンディライト、4 6番 水電池懐中電灯・ランタン、
4 7番 ターゲットライトLED

(投光器) 6番 カセットボンベ、4 1番 カセットガス発電機 (エネポ)
4 8番 投光器 (2灯式・三脚セット)



アルファベットは、備蓄倉庫入口を手前に、下のような位置を表しています。



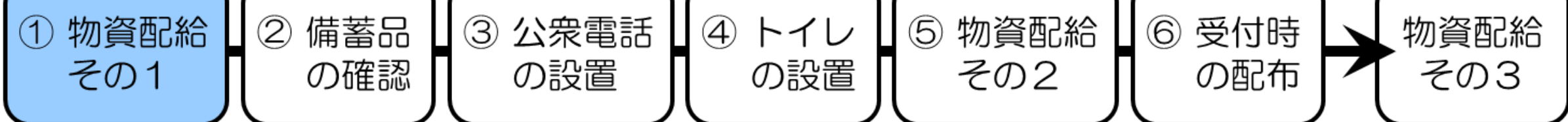
- ☐ 番号は、物資が入っている箱に、マジックで書いてあったり、札が貼ってあるので、アルファベットの位置を探します。
 - ※ 探しても見つからない場合、訓練等で物資が移動している場合があります。
 - ※ 懐中電灯は、クリアケースの中にある場合が多いです。
 - ※ 投光器は、組み立ててある場合が多いです。

- ☐ 物資を見つけたら、下のとおり各班に配ります。

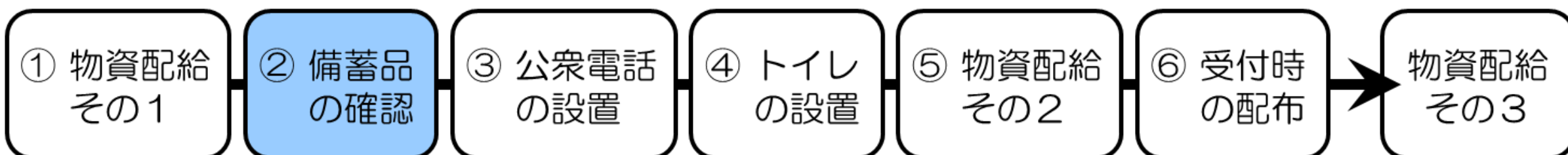
【救急箱】
衛生班

- 【懐中電灯】 （※ 訓練では使用しないでください。）
- 統括班 → 水電池懐中電灯 1個 ・ 水電池ランタン 1個
 - 呼びかけ班 → 水電池懐中電灯 1個 ・ 水電池ランタン 1個
 - 住居班 → ハンディライト 1個 ・ ターゲットライトLED 1個
 - 衛生班 → ハンディライト 1個 ・ 水電池ランタン 1個
 - 物資班 → ハンディライト 1個 ・ 水電池懐中電灯 1個

※現場の状況に合わせ、ライトの配給数については変更して下さい。
※備蓄倉庫の中：ハンディライト3個・ターゲットライトLED1個
水電池懐中電灯3個・水電池ランタン3個



- ☐ 投光器の設置場所を決めるため、統括班に指示を仰ぎます。
避難者の待機場所や受付（体育館入口）などが候補となります。
- ☐ 設置する場所に、投光器（2灯式・三脚セット）、カセットボンベ、カセットガス発電機（エネポ）を持っていきます。
- ☐ 手順どおり、投光器のコンセントを発電機に差し、エンジンを始動させます。



CHECK!
 最初の物資配給に合わせ、備蓄品の確認を行います。方法は、最初と同じです。今後の配給をスムーズにするための場所の把握なので、数までは確認しません。また、ある程度探しても見つからない場合は、飛ばして次の物資を確認します。扉の裏に貼ってある備蓄品一覧を1番から順に読み上げ、書いてある位置に物資があるかを確認します。

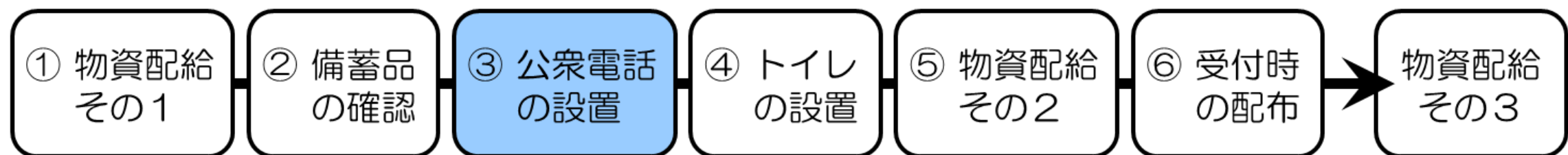


声に出す！

今から備蓄品の場所を把握していきます。
1人は、備蓄品一覧の位置欄を、1番から順に読上げてください。
2人は、読み上げられた位置に物資があるか確認します。
物資の数は、時間がかかるので、今は確認しません。

備蓄品は、備蓄倉庫の中だけではありません。

- ☐ ボックス内の案内図で、感染症対策物品の保管場所を確認します。



統括班は、避難所の状況を市に連絡します。

基本的には携帯電話を使いますが、災害により使用できない場合、統括班から災害時特設公衆電話の設置を指示されます。

指示がない場合は設置する必要はありません。

- ☐ 設置の指示があった場合、60番 特設公衆電話セットの位置を確認します。特設公衆電話は、発信専用となります。

こちらからかけることはできますが、相手からかけることはできません。

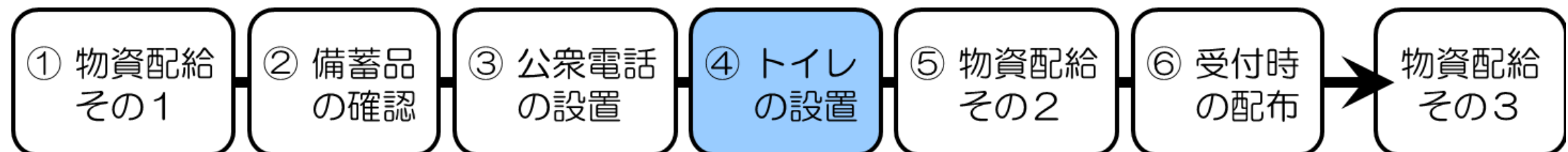


統括班から公衆電話を設置するよう指示がありましたので、

1人は、災害時特設公衆電話を設置してください。

60番 特設公衆電話セットのクリアケースを取り出し、中に入っているマニュアルに基づいて設置します。

設置が終わったら、統括班へ伝えるので、班長に報告してください。



住居班による体育館の安全確認が終わったら、トイレを設置します。

- ☐ まず、トイレ係と配給係を決めます。



体育館の安全確認が終わったら、トイレを設置します。

まず、男女1人ずつでトイレ係に、もう1人は配給係になってもらいます。配給係は、各班への物資の配給を行います。

(トイレ係と配給係が決まったら、以下のアナウンスを行う。)



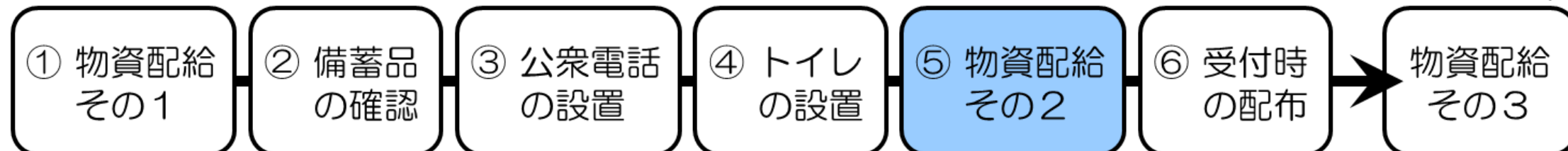
トイレ設置が始まるまでは、全員で配給を行います。

また、配給がない間は、全員でトイレ用の物資を準備しましょう。

トイレは、男女用のほか、必要によって要配慮者用を設置します。

要配慮者用を設置するかどうかは、統括班に確認するので、

指示があるまで、「トイレ設置」の指示カードのとおり、作業してください。



☐ 各班から物資の配給を求められたら、配給係は物資を探して渡します。

また、救助などのため、工具が必要とされることもあります。

☐ 各班には、下の物資などを渡すこととなります。

(※下の物以外を求められる可能性もあります。)

住居班：31番 シート(10×10m)

統括班：45番 ホワイトボード

衛生班：56番 段ボール製ごみ箱

53番 手指消毒液 11番 コードリール

51番 感染症対策セット(セット内のマスク)

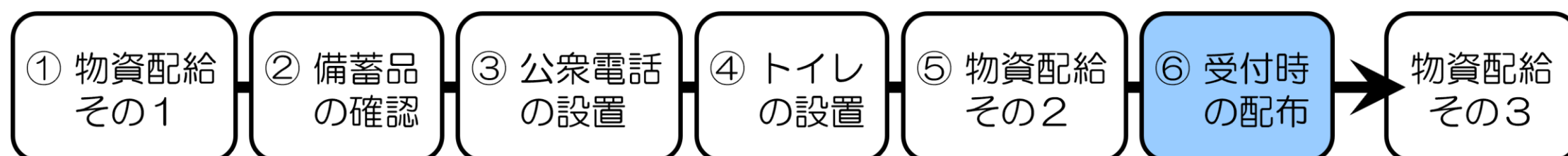
倉庫外※ 検温カメラ、パーテーションルーム

※校舎内で鍵が開けられない場合は、施設管理者の到着後、準備を行ってください。

呼びかけ班：43番 筆談ボード

共通：18番 筆記用具一式 50番 養生テープ

49番 ケアスロープ



住居班が受付の方法を決めたら、住居班長から声がかかります。

☐ 概ねの避難者数を、統括班に確認します。

1箱に10枚入っています。1人に1枚配布するので10人分です。

☐ 必要な毛布の数を計算し、毛布を体育館入口まで持っていきます。

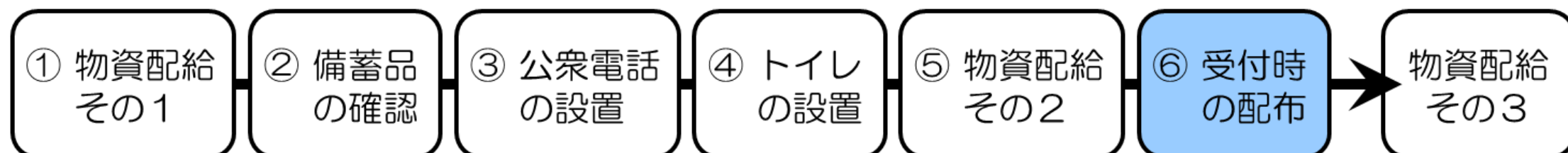


声に出す！

これから受付の準備を行います。

まずは、毛布を_____箱、体育館入口に持っていきます。

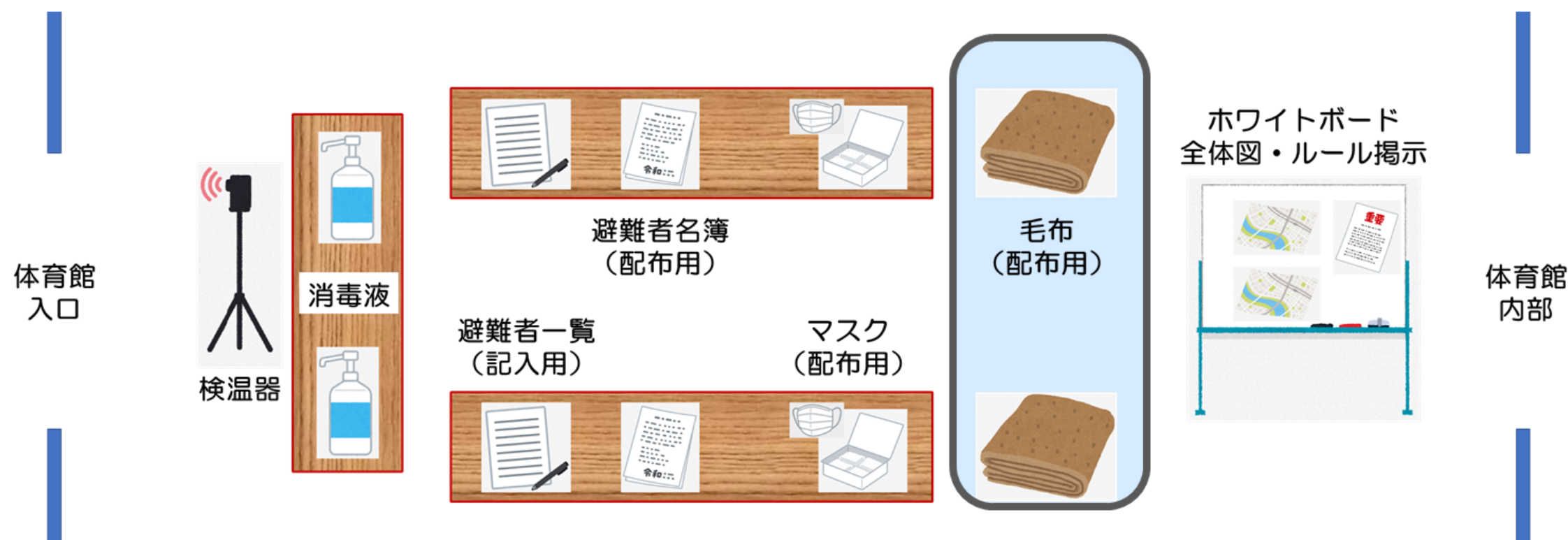
持っていったあとに、配布の方法を指示します。



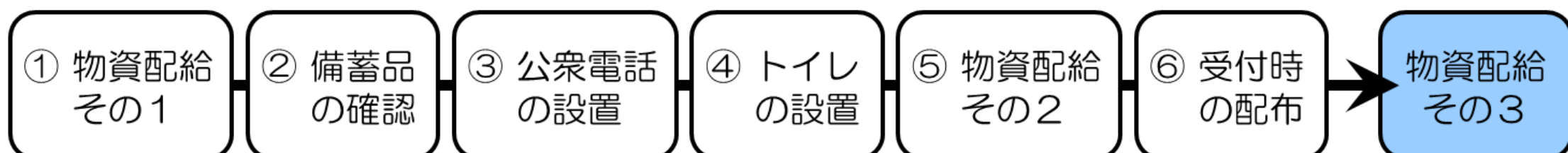
受付のイメージは、下のようになります。

体育館入口の広さや避難者数によって変更されるので、住居班に確認します。

- ☐ 持ってきた物品は、下のブルーで表示されたように配置します。



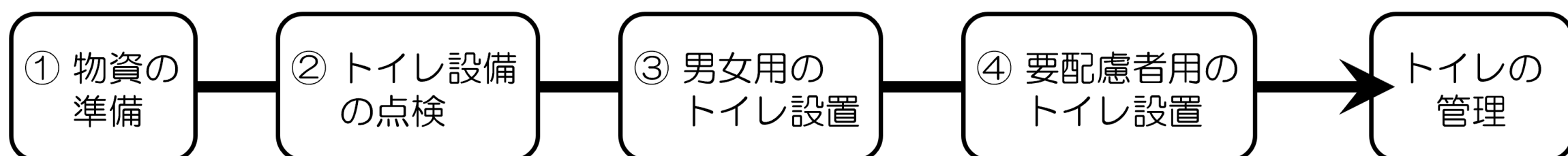
- ☐ 受付が開始したら、毛布の場所に係を配置します。
係は、はさみで袋を開け、1人に1枚配布します。



- ☐ 受付後、各班や避難者から物資の配給が求められた時は、統括班に報告し、備蓄倉庫から取り出します。

ただし、避難者個人に配給するときは、公平性を考慮します。

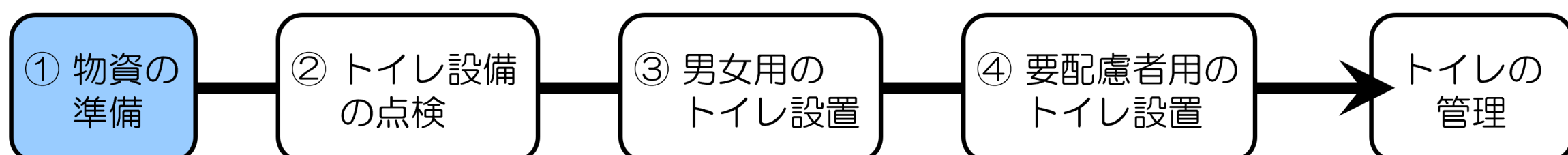
- ☐ 避難者が多く物資が不足する場合は、統括班から市に要請してもらいます。
必要な物品名と数量を統括班に伝えます。



避難所開設の手順書

トイレ設置

次のページの①から順に実行し、トイレ設置を行いましょう。



① 体育館の安全確認が終わるまでの間に、トイレの物資を準備します。

② 備蓄倉庫にある

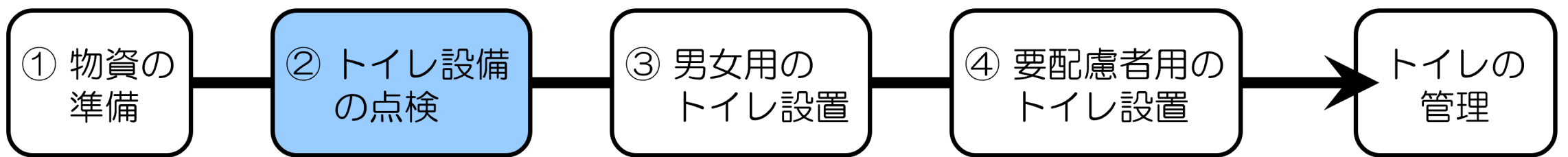
4番 トイレ用凝固剤（BOS 非常用トイレセット） 2箱

39番 トイレトッパー 1箱

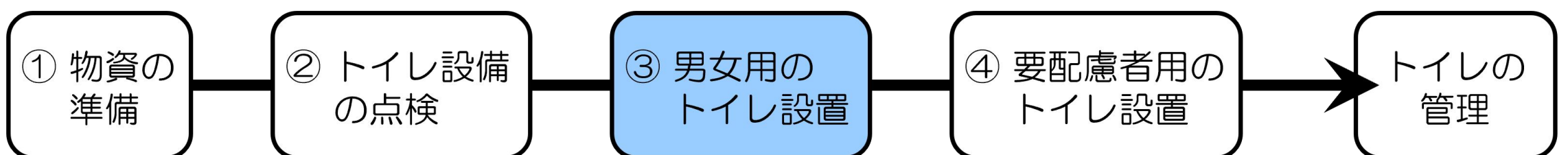
53番 手指消毒液の箱の中から、消毒液を2本

56番 段ボール製ゴミ箱 2箱

ボックス内の使用禁止テープ（黒・黄色） 1個 を取り出します。



- ① 体育館の安全確認結果を、統括班や住居班に確認します。
- ② トイレの部屋が使用可能だった場合は、準備した男女用のトイレ物資を体育館トイレ前まで運びます。
- ③ 男女それぞれの部屋を使用します。
水道が使えたとしても、下水道が使えない場合があるので、通常のトイレは全て使用禁止となります。
- ④ 便器に大きな破損がないか、点検します。
- ⑤ 破損のある便器の個室と手洗い用の蛇口、男子の小便器は、全て使用禁止のテープで表示します。



- ① 便器に破損がある場合、もしくは全て和式トイレの場合は、男女のトイレそれぞれで、トイレ用凝固剤（BOS 非常用トイレセット）を1箱ずつ開けます。
便座を上げ、便器カバー用の袋をセットするのみです。
1箱に10袋カバーが入っているので、全ての便器に袋をセットします。



- ② 全ての便器に破損がある、もしくは全て和式トイレの場合、備蓄倉庫にある 3番 簡易トイレを使用します。
トイレの室内に簡易トイレを1個だけ設置します。
説明書のとおり組み立てます。

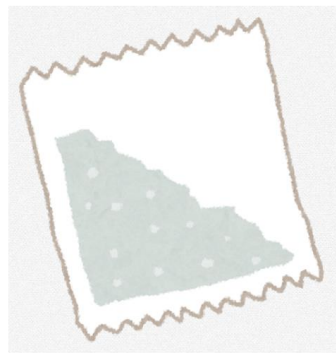




- ③ 男女それぞれのトイレ入口前に、トイレ用凝固剤の箱から内容物を取り出し、下のようにトイレットペーパーなどと一緒に整理して配置します。
- トイレットペーパーは、1箱を男女で配分しますが、全て配置すると一気に使用されてしまうので、便器の個室の数くらい置くと節約しながら使えます。



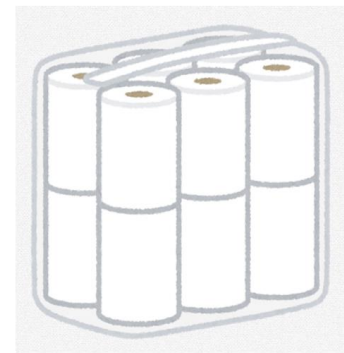
防臭袋
(白い袋)



凝固剤

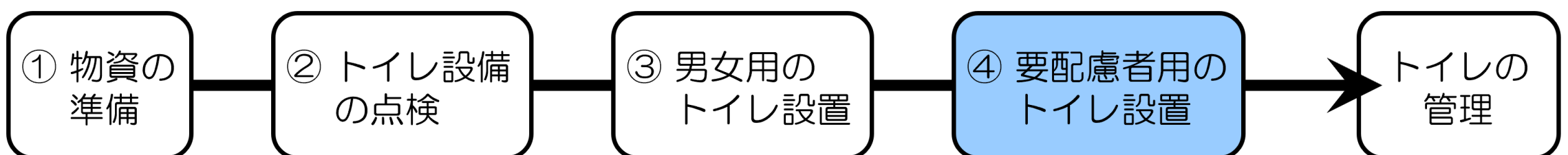


排泄用汚物袋
(黒い袋)



トイレットペーパー

- ④ 男女それぞれのトイレの入口付近に、手指消毒液を1つ配置します。
- ⑤ ダンボール製ゴミ箱を組み立て、トイレの手洗い場付近に、汚物袋のごみ箱 兼 サニタリーボックスとして配置します。



- ① 要配慮者用として、車椅子の方のためのトイレを設置する必要があるか、統括班の指示を仰ぎます。

- ② 設置する場合、

- 25番 便槽型トイレ（ベンクイック・弱者用H）を準備します。
- 便槽型トイレ（ベンクイック・弱者用H）が保管されていない場合は、
- 19番 ビニル密閉型トイレ（ラップポン）
- 20番 ビニル密閉型トイレ（ラクアーム）
- 64番 ワンタッチテント
- 11番 コードリール
- を準備します。



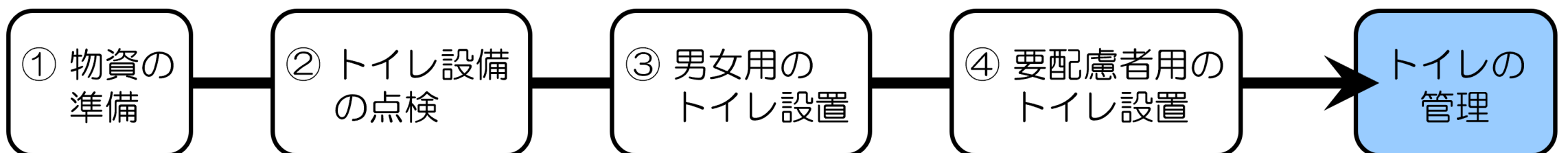
③ 設置場所を決めます。

屋内の個室か、または屋外で人通りが少なく、車椅子で行ける範囲の場所を選択し、決めた場所は統括班に報告します。

- ・便槽型トイレの場合、箱の中にトイレ用テントがあります。また、ラップポンの場合もワンタッチテントを設置するため、屋外でも問題はありません。
- ・テントが固定できるよう、地面に杭が刺さる場所が適切です。
- ・ラップポンの場合、電源が必要なため、コードリールで電源までつながる範囲で設定します。

④ 統括班への報告後、説明書のとおり設置します。

統括班には、学校の全体図の中に、トイレの位置を記入してもらいます。



① ボックスに入っているトイレ使用のルールをトイレの入口に表示します。

② 定期的に、トイレに配置した防臭袋、凝固剤、汚物袋、トイレットペーパーの残数を確認します。

少なくなっていれば、備蓄している物資から補充します。

③ 残数確認と合わせて、ごみ箱の状況を確認します。

いっぱいになりそうだったら、ごみ袋を交換します。

いっぱいになった袋は、ごみ集積所に持っていきます。

ごみ集積所は、衛生班に確認しましょう。